

## 研究協力者の方への説明文書

### 研究課題名

「  
」

※本研究は、名古屋市立大学大学院人間文化研究科研究倫理委員会の承認を経たうえで行われるものです。

#### 【補足説明】

- 研究課題名は、倫理審査の承認番号と紐づけるための重要な情報となりますので、原則的に倫理審査時の1.課題名を記載してください。

### 研究の背景・必要性・目的

#### 【補足説明】

- 申請書Ⅲ-8.目的・必要性・意義・予測される利益に基づいて記載してください。
- 専門用語の多用は避け、研究協力者が理解できるような言葉で記載してください。

### 研究の方法

#### 【補足説明】

- 申請書Ⅲ-9.研究方法に基づいて、研究協力者が理解しやすい言葉で記載してください。
  - 研究の具体的な方法（研究対象者、研究対象者への介入方法など）
  - 研究協力者にご協力いただく内容
  - 研究協力者が研究に協力する場所、期間、時間
  - 人体から取得された試料を用いる場合には、試料の種類、採取方法、量など

### 研究を実施する者

研究代表者：

研究責任者：

研究実施者：

#### 【補足説明】

- 研究代表者、研究責任者、研究実施者は、所属、職位（補職）、学籍番号、氏名を記載してください。
- 研究代表者は、多機関共同研究を実施する場合に複数の研究機関の研究責任者を代表する者を記載してください。本学のみで実施する研究の場合は、削除してください。
- 研究責任者は、本学における研究を統括する者（申請書のⅢ-2.研究代表者）としてください。
- 研究実施者は、本学において実際に研究に従事するⅢ-2.研究代表者あるいはⅢ-3.研究分担者としてください。本学において研究に従事する者はすべて記載してください。

## 研究に参加することの任意性

### 【補足説明】

- 以下の点について、研究協力者が理解できるような言葉で記載してください。
  - 研究の参加は任意であり、強制ではないこと。
  - 研究の参加を拒否したことにより、不利益を被ることがないこと（学生の場合には、成績評価等について不利益を被ることがないことなど）
  - 研究の参加に一度は同意したものの、のちに同意を撤回したくなった場合に、不利益を被ることなくいつでも同意を撤回することができること。同意の撤回をする際の方法および対応方法についても記載してあることが望ましい。
  - 研究への参加を中断することができること。

## 研究に参加することによる利益・負担・不利益

### 【補足説明】

- 利益とは、研究から得られる成果や期待される恩恵（研究協力者が受け取る謝金は含まれない）を指します。
- 負担とは、研究の実施に伴って確定的に生じる好ましくない事象（身体的又は精神的な苦痛、健康上の不利益、経済的出費等）を指します。
- 不利益とは、研究の実施に伴って生じる可能性のある好ましくない事象を指します。

## 研究に参加することで生じた負担・不利益に対する対応

### 【補足説明】

- 研究協力者への負担・不利益は最小限にする対策を講じなければなりません。それらの対策を講じてもおお負担・不利益が生じた場合の対応方法について記載してください。

## 研究に関する情報の開示および成果の公表

### 【補足説明】

- 研究に関する試料や資料などの情報および研究成果の開示方法について記載してください。
- 研究対象者の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手又は閲覧の方法を記載してください。

## 個人に関する情報の取り扱い

### 【補足説明】

- 個人に関する情報には、個人情報（特定の個人を識別することができる情報）や要配慮個人情報（人種、社会的身分、病歴、犯罪の経歴）、評価情報などすべてのデータを含みます。
- 個人情報を匿名化する場合には、その方法、時期について記載してください。
- 匿名化の方法には、①匿名化されているもの（特定の個人を識別できないものであって、対応表が作成されていないものに限る）、②匿名化されているもの（特定の個人を識別できないものに限る）、③匿名化されているもの（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないように、加工又は管理されたものに限る）、④匿名化されているもの、となります。
- 連結可能匿名化と連結不可能匿名化は、2017年の個人情報保護法の改正により廃止された用語となりますので、使用しないでください。
- 個人に関する情報の保管方法、保管期限を記載してください。
- 保管期限は、2015年に日本学術会議で答申されたように、「論文等の形で発表された研究成果のもととなった実験データ等の研究資料は、当該論文等の発表から10年間の保存を原則とする」とされています。

## 研究協力者への謝礼および受け渡し方法

### 【補足説明】

- 研究協力者に対して、謝金または金券などを謝礼として受け渡す場合は、謝礼の内容と謝礼を受け渡す時期、受け渡しの方法について記載してください。必要がなければ削除してください。

## 利益相反の管理

### 【補足説明】

- 利益相反が生じる可能性のある場合に記載してください。
- 利益相反が生じない場合には、「本研究の遂行に関して、開示すべき利益相反はありません。」と記載してください。

## 問い合わせ先

### 【補足説明】

- 研究に関する問い合わせ先を記載してください。
- できれば、複数の連絡手段を確保しておくことが望ましいです。